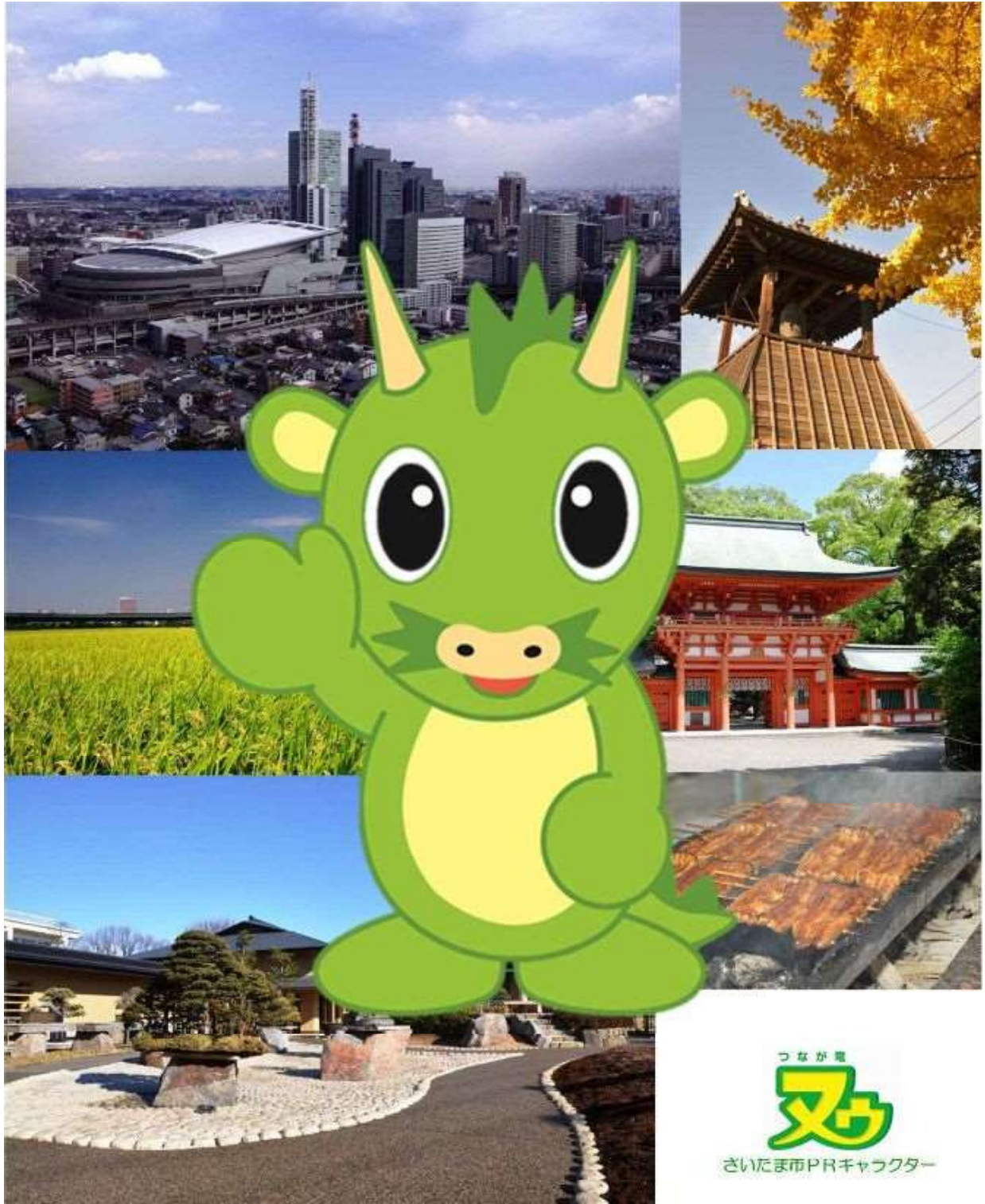


平成28年6月
さいたま市の財政



つなが電
又
さいたま市PRキャラクター

はじめに

市が提供するさまざまな行政サービスは、市民の皆様に納めていただいた税金や国・県からの支出金などによって賄われています。市では、それらがどのように使われているか、また、執行の状況はどうなっているかをお知らせするため、「さいたま市の財政」を毎年2回（6月、12月）公表しています。

今回は、平成27年度下半期の財政状況をお知らせします。

平成28年3月31日現在の状況を元に調製しており、これに出納整理期間（※）のお金の動きなどを加えることで、平成27年度の決算として確定します。

なお、決算については、当冊子の12月号において公表する予定です。

※出納整理期間とは

3月末日までに確定した債権・債務を整理するための期間として、5月末日までの2カ月間設けられているもの。

もくじ

1	平成28年度当初予算の概要	1
2	平成27年度歳入歳出予算の執行状況	
	・一般会計歳入	3
	・一般会計歳出	4
	・特別会計歳入	5
	・特別会計歳出	6
3	平成27年度予算の使い方と市税負担	7
4	財産、地方債及び一時借入金の現在高	8
5	公営事業の状況	9

1 平成28年度当初予算の概要

予算の特徴

- ◆「さいたま市総合振興計画」、「さいたま市成長戦略」、新たに策定した「さいたま市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を着実に実施する予算であるとともに、「しあわせ倍増プラン2013」の総まとめとなる予算
- ◆本市の良さや強みである「教育」、「環境」、「健康・スポーツ」といった分野を活かしながら、将来を見据えて、「子育て支援」、「安心・安全」といった分野に重点的に配分する予算
- ◆東日本の中枢都市構想を推進する施策に積極的に投資し、地域経済の活性化や都市のブランド力の向上に資する予算
- ◆これらの取組を着実に実施することで、市民満足度を高め、より多くの市民が住みやすいと感じる都市の実現に向けて、持続的発展と活力ある未来に“繋げる”予算

予算の総額

一般会計

教育、福祉、医療や道路・公園の整備など市の基本的なサービスを行う会計で、主に市税で賄われています。一般会計は1つしかありません。

福祉

教育

土木

など

当初予算額 (前年度)

4,689億円 (4,560億円)

対前年比 2.8%増

特別会計

国民健康保険や介護保険のように、特定の収入をもって特定の支出に充てるため、一般会計と区別する必要がある事業の会計。さいたま市には15の会計があります。

国民健康保険

介護保険

都市開発

など

当初予算額 (前年度)

3,294億円 (3,233億円)

対前年比 1.9%増

企業会計

民間企業と同じように、基本的には事業収益でまかなわれている会計。さいたま市には、水道事業、下水道事業、病院事業の3つの会計があります。

水道事業

下水道事業

病院事業

当初予算額 (前年度)

1,153億円 (1,215億円)

対前年比 5.1%減

全会計合計

当初予算額 (前年度)

9,136億円 (9,008億円)

対前年比 1.4%増

主な事業

①次代を担う人材をはぐくむ「若い世代をアシスト」

特定教育・保育施設の整備【予算 34億1,080万円】

保育所等利用待機児童の解消を図るため、賃貸物件による保育所整備の補助を新たに拡充するなど、保育需要の高い地域において保育所等を整備し、定員を拡大します。



②市民一人ひとりが元気に活躍する「スマートウェルネスさいたま」



さいたま国際マラソン開催事業【予算 2億8,026万円】

市民マラソンにより健康増進を図るとともに、世界トップレベルの選手の走りを体感することで、市民のスポーツに対する意欲、関心を高め、「スポーツのまち さいたま」を国内外にアピールできる市民マラソンと国際女子マラソンを「さいたま国際マラソン」として同時開催します。

③新しい価値を創造し、革新（イノベーション）する「産業創出による経済活性化」

東日本連携・創生事業【予算 1,826万円】

東日本の広域的な連携による地方創生に向けた東日本連携・創生フォーラムの開催及び連携事業を実施します。



④自然と共生しながら、都市の機能を向上する「上質なくらしを実現できる都市」



環境未来都市推進事業【予算 5,761万円】

運輸部門の低炭素化と災害時の輸送手段確保のため、電気自動車(EV)に加え、燃料電池自動車(FCV)など、次世代自動車の普及を促進します。

⑤みんなで安全を支える「安心減災都市」

流域貯留浸透事業【予算 1億6,362万円】

降雨が短時間で河川に集中し、浸水被害を起こす可能性が高まっているため、公共施設(小中学校・公園等)に降った雨を一時貯留、浸透させる施設を設置します。



このほかにもさまざまな事業に取り組んでいきます。
また、現場の声を政策に反映するために、市政の最前線である各区役所からの提案事業にも取り組んでいます。

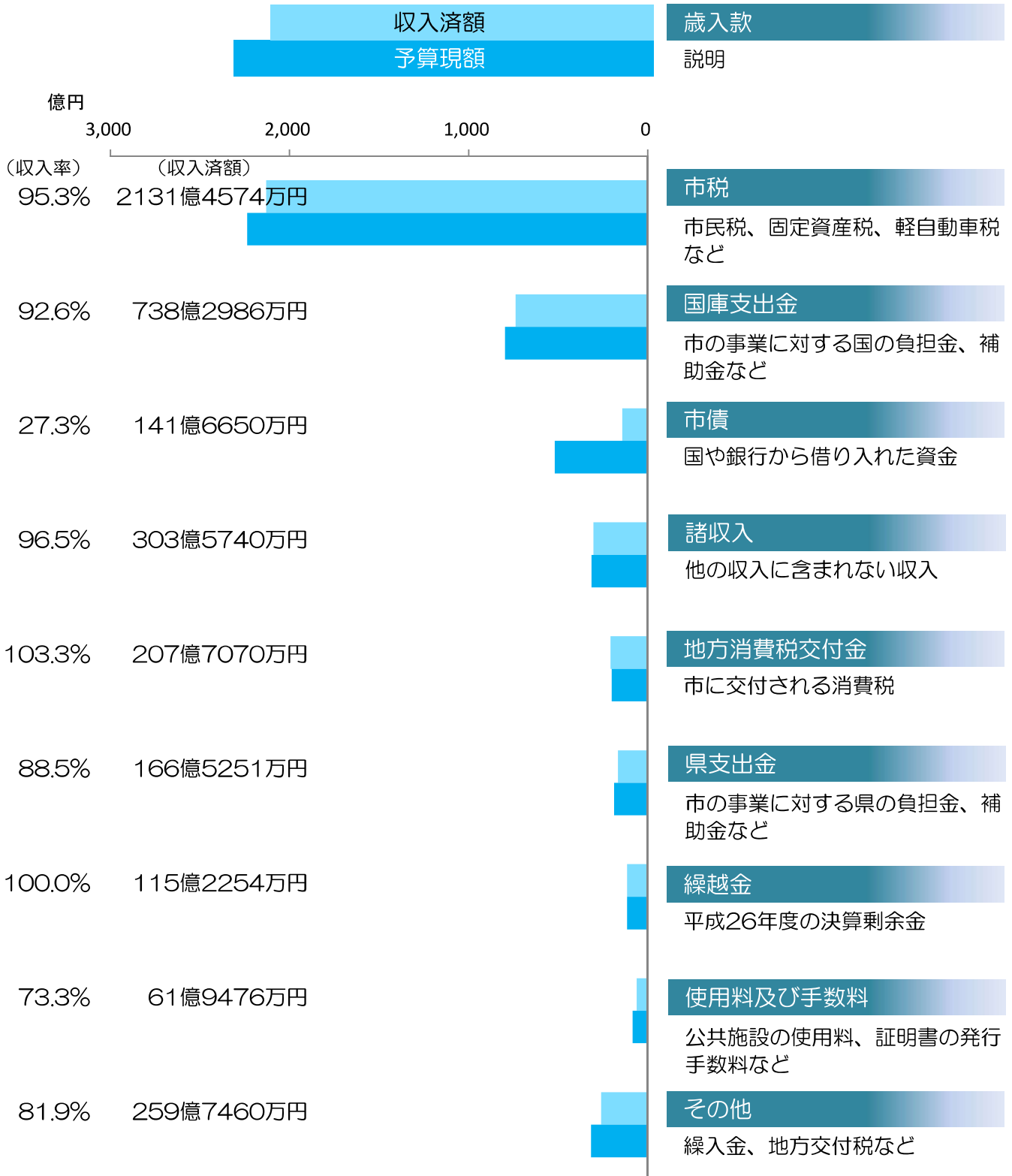


※平成28年度の主要な事業の概要及び予算の査定経過等については、市のホームページでも確認できます。
<http://www.city.saitama.jp/index.html> (トップページから、「市政情報」→「政策・財政」→「予算・決算」へとお進みください。)

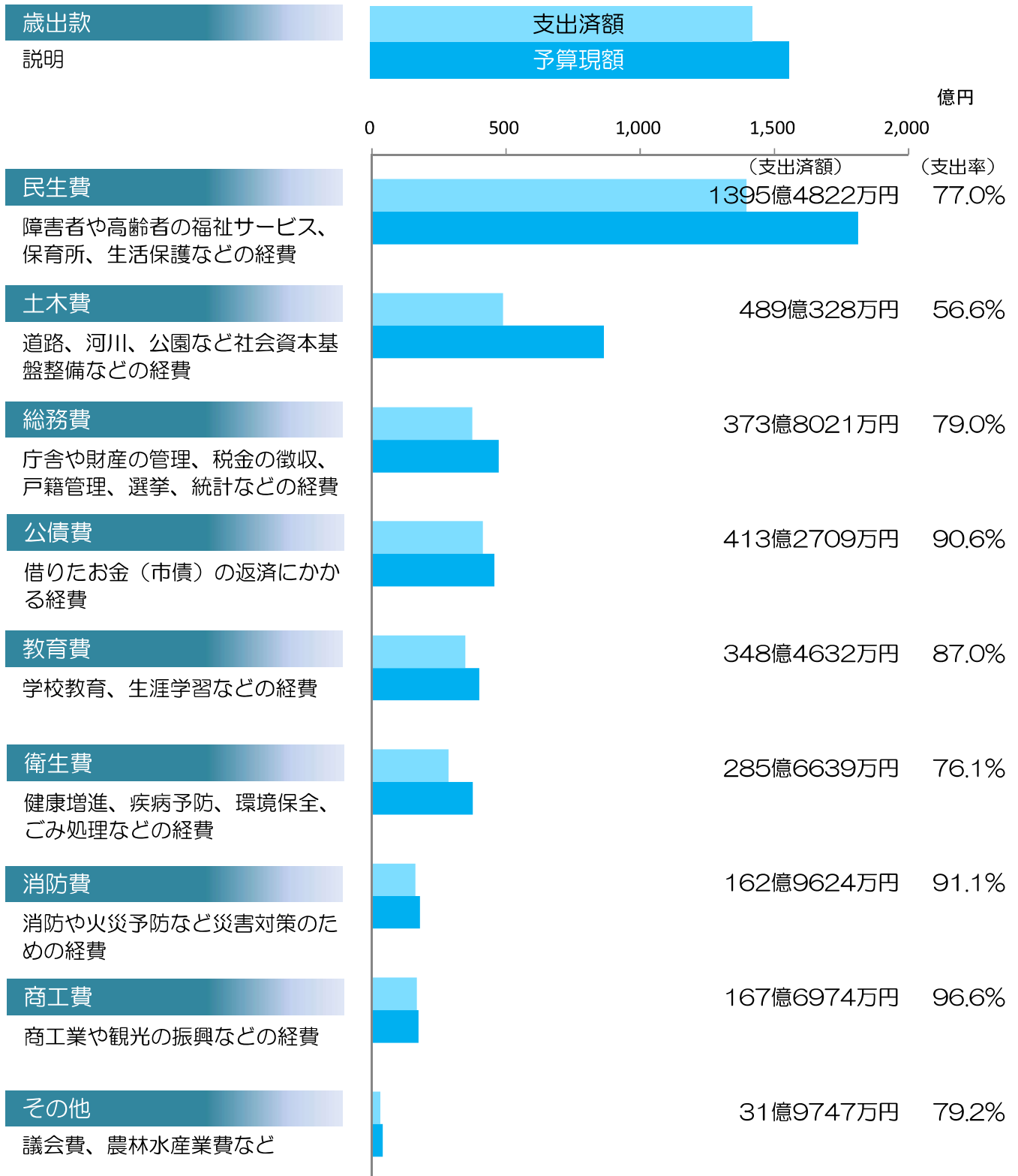
2 平成27年度歳入歳出予算の執行状況

一般会計

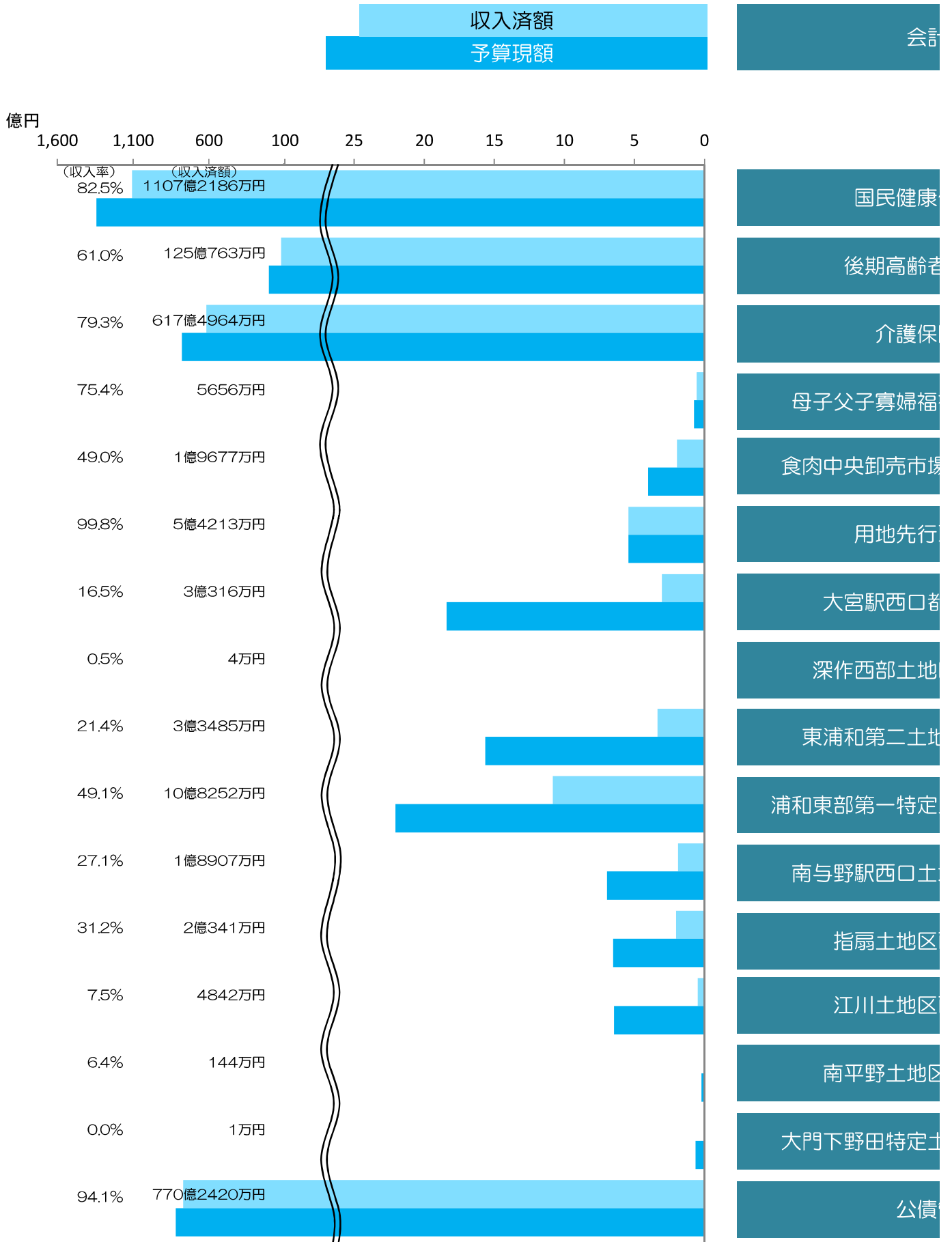
歳入 $\frac{\text{収入済額 } 412,614,592,887 \text{ 円}}{\text{予算現額 } 477,380,280,908 \text{ 円}} = \text{収入率 } 86.4\%$

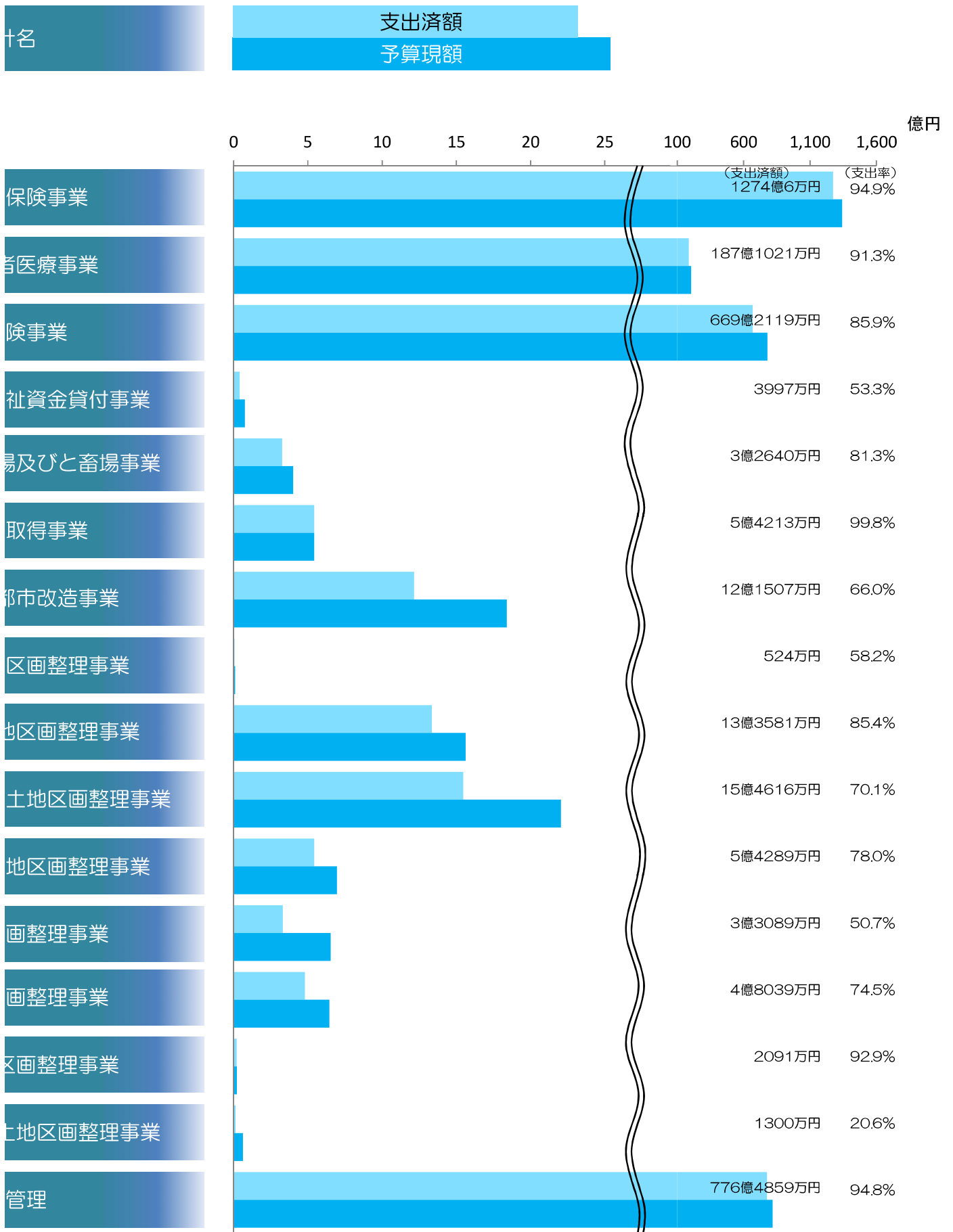


歳出 $\frac{\text{支出済額 } 366,834,962,184 \text{ 円}}{\text{予算現額 } 477,380,280,908 \text{ 円}} = \text{支出率 } 76.8\%$



特別会計





3 平成27年度予算の使い方と市税負担

市民一人当たりの予算の使われ方

1

民生費



142,267円

歳出（一般会計）を、
市民一人当たりに換算すると、

374,858 円

※市民一人当たりの歳出の額を、目的別で金額の多い順に並べています。
※平成28年4月1日現在の人口（1,273,497人）を基に算出（以下同様）

2

土木費



67,849円

3

総務費



37,134円

4

公債費



35,815円

5

教育費



31,459円

6

衛生費



29,490円

7

消防費



14,044円

8

商工費



13,630円

その他

議会費
農林水産業費
労働費
予備費
災害復旧費

3,170円

市税負担の状況

市税を、市民一人当たりに換算すると、

175,659 円

市民税



88,117円

固定資産税



63,401円

都市計画税

13,655円

市たばこ税

6,366円

事業所税

3,360円

軽自動車税

759円

その他

1円

4 財産、地方債及び一時借入金の現在高

財産



その他の財産

区分	3月末現在高	単位
公有財産	立木	7,274.00 ㎡
	物権	267,972.98 ㎡
	動産	なし
	無体財産権	9 件
	有価証券	9,685,115,136 円
	出資による権利	1,637,157,715 円
不動産の信託受益権	なし	
物品	3,761	点
債権	3,219,194,670	円

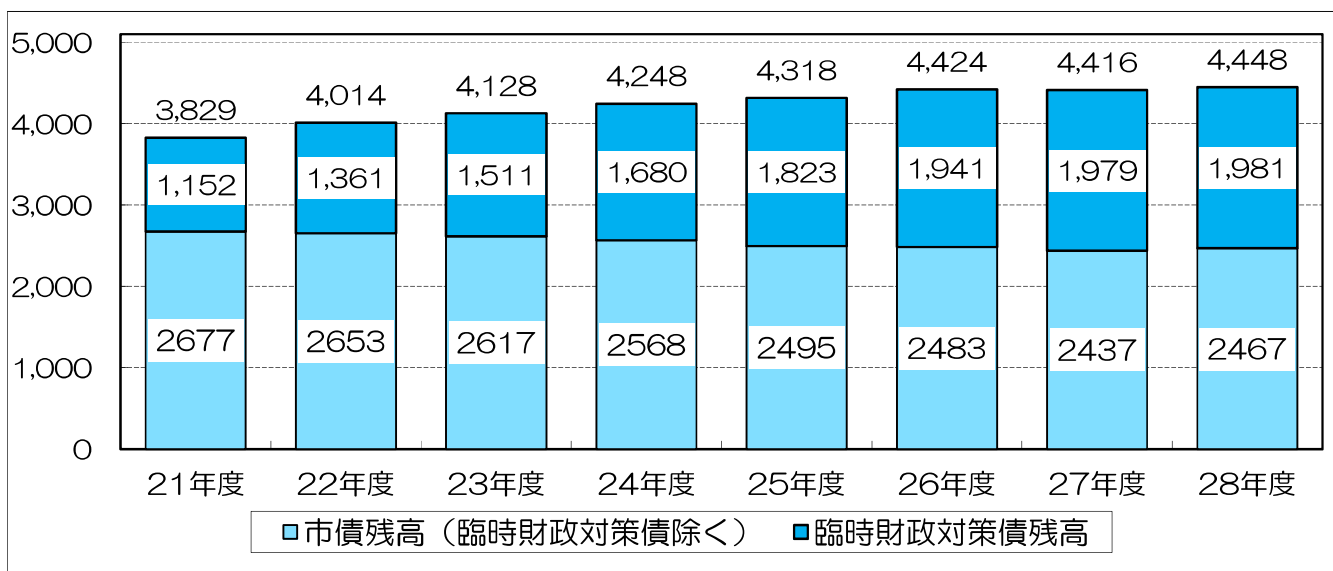
※物品については、取得価格が1点100万円以上の備品の年度末現在高のみ掲載対象としています。

地方債

(単位：千円)

会計	平成27年9月末 現在高	平成27年10月 ～平成28年3月 借入額	平成27年10月 ～平成28年3月 償還額	平成28年3月末 現在高	
一般会計	423,732,632	14,166,500	22,900,354	414,998,778	
特別会計	16,522,062	7,602,300	8,980,015	15,144,347	
企業会計	水道事業	57,923,300	1,429,000	2,356,633	56,995,667
	病院事業	1,422,227	288,800	108,035	1,602,992
	下水道事業	170,552,450	14,898,600	5,802,965	179,648,085
合計	670,152,671	38,385,200	40,148,002	668,389,869	

（参考）市債残高の推移



※平成26年度までは決算額、平成27・28年度は見込額

一時借入金

一時借入金は金融機関からの借入れを指し、基金や会計間の繰替運用によるものは含みません。平成27年度は、上半期に引き続き、下半期における借入れもなく、平成28年3月末現在の残高はありません。

5 公営事業の状況

水道事業

水道事業では、昭和12年（1937年）の給水開始以来、6期の拡張事業を重ね、ほぼ100%の普及率となっていますが、普及率が著しく向上した高度経済成長期に建設した多くの施設の老朽化が進み、大規模更新や耐震化対策等の強化が不可欠となっています。また、多様化する市民ニーズに対応したサービスの向上も必要となっています。

一方、これらの事業の財源となっている水道料金収入は、節水型機器の普及などにより減収傾向にあり、財源の確保が課題となっています。

水道局では、このような時代や環境の変化に対応するため、「安全、強靱、持続」を観点として平成26年12月に改訂した水道事業長期構想に基づき効率的、効果的な事業運営に努めていきます。

平成28年度当初予算の概要

当初予算額 44,377,063千円

(主な事業)	(単位：千円)
水道施設整備事業	9,142,649
水の安定的な供給を図るための施設整備を推進します。	

病院事業

本市唯一の公立病院であるさいたま市立病院は、地域における基幹的な公的医療機関として、地域医療の確保のため重要な役割を果たしていますが、全国的に公立病院を取り巻く経営環境や医療提供体制の維持が極めて厳しい状況となっていることから、中期経営計画に基づいた、医療機能の充実と健全経営の確立を図る必要があります。

また、施設及び設備が老朽化しており、安定した医療提供体制の維持と、医療機能を強化するために、施設の更新を行い、地域がん診療連携拠点病院として質の高い医療の提供や、高度医療機器の整備、緩和医療を含めた診療体制の充実などを図っていく必要があります。

平成28年度当初予算の概要

当初予算額 16,643,423千円

(主な事業)	(単位：千円)
市立病院施設整備事業	850,748
市民に安心で、安定した医療の提供と、医療機能の強化を図るため、救命救急センター設置を含めた施設整備を実施します。	
市立病院エネルギーセンター更新ESCO事業	100,938
安定した医療機能を確保するため、老朽化した市立病院のエネルギーセンターについて、ESCO事業を導入しながら更新します。	
市立病院高度医療機器整備事業	225,321
質の高い医療の提供及び病院機能拡充のため、人工心肺装置の入替等医療機器を整備します。	

下水道事業

1. 計画的な事業の推進

限られた財源で十分な投資効果が得られるよう、効率性の確保や計画的な下水道事業の推進を図ります。また、下水道施設の維持と安定的なサービス提供のため、計画的な維持管理事業の推進も図ります。

2. 経営の健全化への取組の推進

事業全般について点検や見直しを行い、経費の削減を図り、一般会計からの繰入金に依存しない独立採算の経営に向けた様々な取り組みを推進します。

平成28年度当初予算の概要

当初予算額 54,298,560千円

(主な事業)	(単位：千円)
下水道汚水事業	5,360,057
未整備区域について事業効率が高い区域の下水道整備を推進します。	
下水道浸水対策事業	4,861,283
雨水幹線及び貯留施設等のハード対策を引き続き実施すると共に、市民の自助及び共助の促進を目的とするソフト対策を進めます。	
下水道施設老朽化対策事業	4,075,392
老朽化した施設について重要な幹線の耐震化や計画的な改築更新を実施します。	

■ 平成27年度経理の概況 (単位：千円)

科目	金額
資産	213,617,762
(1) 固定資産	192,523,832
(2) 流動資産	21,093,930
負債	97,879,496
(1) 固定負債	55,853,438
(2) 流動負債	11,023,010
(3) 繰延収益	31,003,048
資本	110,000,571
(1) 資本金	101,491,733
(2) 剰余金	8,508,838
収益	30,218,797
うち営業収益	28,880,132
費用	24,481,102
うち営業費用	23,046,922

(単位：千円)

	収入		支出	
	執行額	執行率	執行額	執行率
収益的収支	32,492,970	98.7%	26,164,908	95.4%
資本的収支	2,536,640	58.0%	14,173,077	70.1%

■ 事業の概況 (平成27年度下半期)

項目	前年同期	当期	増減率
給水件数	575,395	581,368	101.0%
給水量 (m ³)	130,407,690	131,133,150	100.6%
一日平均給水量 (m ³)	357,281	358,287	100.3%

■ 平成27年度経理の概況 (単位：千円)

科目	金額
資産	16,758,439
(1) 固定資産	8,210,538
(2) 流動資産	8,547,901
負債	7,330,720
(1) 固定負債	4,003,048
(2) 流動負債	2,092,241
(3) 繰延収益	1,235,431
資本	8,956,343
(1) 資本金	8,239,316
(2) 剰余金	717,027
収益	14,953,084
うち営業収益	13,934,842
費用	14,481,708
うち営業費用	13,862,219

(単位：千円)

	収入		支出	
	執行額	執行率	執行額	執行率
収益的収支	14,969,669	99.9%	14,487,543	96.7%
資本的収支	850,999	37.1%	1,522,339	38.7%

■ 事業の概況 (平成27年度下半期)

項目	前年同期	当期	増減率	
病床数	567	567	100.0%	
入院患者数	一般病床	82,626	82,962	100.4%
	結核病床	893	1,401	156.9%
一日平均入院患者数	一般病床	454.0	453.3	99.8%
	結核病床	4.9	7.7	157.1%
外来患者数	117,663	119,318	101.4%	
一日平均外来患者数	988.8	994.3	100.6%	

■ 平成27年度経理の概況 (単位：千円)

科目	金額
資産	415,750,029
(1) 固定資産	405,147,940
(2) 流動資産	10,602,089
負債	284,529,980
(1) 固定負債	168,008,549
(2) 流動負債	17,498,325
(3) 繰延収益	99,023,106
資本	130,618,238
(1) 資本金	130,399,359
(2) 剰余金	218,879
収益	23,749,152
うち営業収益	20,856,271
費用	23,147,341
うち営業費用	19,365,644

(単位：千円)

	収入		支出	
	執行額	執行率	執行額	執行率
収益的収支	25,066,753	99.0%	23,754,352	98.2%
資本的収支	18,927,265	70.8%	26,709,343	70.1%

■ 事業の概況 (平成27年度下半期)

項目	前年同期	当期	増減率
汚水処理戸数	473,690	484,103	102.2%
汚水処理水量 (m ³)	131,701,349	135,926,686	103.2%
一日平均汚水処理水量 (m ³)	360,826	371,384	102.9%



この冊子は150部作成し、1部当たりの印刷経費は52円（概算）です。

平成28年6月
編集発行 / さいたま市財政局財政部財政課
TEL 048-829-1153~1155